

庶民に至るまで沢山の人が死んだ。当時、庖蒼は、我国ではまったく知識がなかった。この不思議な病  
気平癒のために、諸国の神社、仏閣に奉幣使を立てて祈願した。

当梓衝神社は、延喜式の古社であるし、別当、長樂寺は真言宗なので、祈祷は専門的であったので、  
ここにも勅使が来て、祈願した事は当然と思われる。この時の記念碑であらう。

〔梓衝村誌考〕より〕

## 円満寺の経塚

《矢田野》

矢田野に円真という学識高い、真言宗の修行僧がいた。住  
民はもちろん武家に至る多くの人々が帰依した。やがて矢田  
野阿波守為治公の信任厚くついに城主の祕仏である木像の正  
観世音菩薩を本尊とした福聚山円満寺を城門に開基、僧円真  
を迎え入れ、開山第一世として、しかも祈願寺と定められた。

これより住民の帰依信仰もますます深く、厚く信心の力を  
結集して寫經を發願したので、老いも若きも、毎日、江花川  
畔に行つて小石を集め来て、大日經と法華經八卷の經文の一  
字ずつ一石にそれぞれ各自に淨書して、寺門に一字一石の塔



円満寺跡 (矢田野)